

平成 2 1 年度
広報室予算要求方針

【目次】

1	平成 2 1 年度広報室予算要求総括表	1
2	平成 2 1 年度広報室経営方針	2
3	重点的に取り組みをおこなう主なもの	3
4	事務事業の見直し等	3

1 平成21年度広報室予算要求総括表

【一般会計】

平成21年度要求総額 482,299千円
 (平成20年度予算額 541,386千円)
 前年度比 10.9%

《主な事業》

(単位：千円)

事業名	平成21年度 予算要求額 A	平成20年度 予算額 B	増 減 A - B
市政だより発行 事務	168,002	162,712	5,290
市政テレビ・ラ ジオによる広報	152,695	164,000	11,305
地域密着広報事 業	49,014	61,901	12,887
情報発信・取材 協力事業	49,966	61,698	11,732
映像製作誘致 強化事業	21,157	21,163	6

2 平成21年度広報室経営方針

平成21年度は、北九州市基本構想に基づき、新たなまちづくりが始動する年である。

広報室では、市民がまちに愛着を深めると共に誇りを持ち、市民はもちろん訪れた人にも「住んでみたい、住み続けたい」と思えるまちを目指し、「都市イメージの向上」に重点を置いた上で、

効果的でわかりやすい市政情報の提供

市内外に対し、本市の取り組みや魅力の発信の強化

民間能力の活用

を柱とした施策を実施する。

【取り組みの方向性】

(1) 市民の要望や意見を反映し、

効果的でわかりやすい市政情報の提供

- ・ 市政だより、市政テレビ・ラジオ、ホームページ等の自主広報媒体を活用し、効果的でわかりやすく市政情報を提供する。

(2) 市内外に向けた本市の取り組みのPR・

都市イメージ向上の取り組み

- ・ 基本構想に基づく新たなまちづくりの目標の実現に向けた本市の取り組みをタイムリーかつ効果的に情報発信するため、毎週、市長による定例会見を実施する。
- ・ 本市の知名度や都市イメージの向上を図るため、新聞、雑誌、テレビ、インターネット等のマスメディアを活用して、本市の魅力や取り組みをPRする。
- ・ 映画やテレビドラマなどの撮影を国内外から誘致し、映像で本市をPRする。

(3) 民間能力の活用

民間の能力を活用するため、平成20年度に引き続き、市政だよりの編集業務を民間に委託する。

3 重点的に取り組みを行う主なもの

(1) 市政情報の提供

- ・市政だより発行事務 (168,002千円)
(事業概要)

市の施策やお知らせ情報等を、わかりやすく広報するため、毎月2回(1日、15日)「市政だより」を発行する。

- ・市政テレビ・ラジオによる広報 (152,695千円)
(事業概要)

市の施策やお知らせ情報等を、特色ある番組構成で紹介する。

(2) 取り組みのPR・都市イメージの向上

- ・情報発信・取材協力事業 (49,966千円)
(事業概要)

新聞、雑誌、テレビ、インターネット等のマスメディアを活用して、本市をPRする。

- ・映像製作誘致強化事業 (21,157千円)
(事業概要)

映画やテレビドラマなどの撮影を国内外から誘致し、映像で本市をPRする。

4 事務事業の見直し等

(1) 職員広報紙の見直し

職員向けに毎月発行している広報紙「ひびき」を、庁内イントラネットを活用し、WEB化することにより、印刷経費を削減する。